

【企業動向調査（製造業）概況】

2023年4月～6月期の企業動向調査（市内製造業96社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は▲ 20.0ポイントとなりました。

前期調査結果（2023年1月～3月期：▲ 23.1ポイント）と比較して3.1ポイント好転しました。その他経営上の問題については、「電気代、燃料費の高騰が利益減が問題です。」、「半導体関係での受注が激減しています。今後の動向の情報を集め的確に対応したいです。」、「輸出のない中小事業者は実体経済より非常に悪い状況かと思えます。賃金と労働生産性の不釣り合いが発生し2025年の大廃業時代もかなり現実感が出てきた気がします。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」は0ポイント、「金属」、「一般機械」「電気機械」、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

業種別の業況判断前期比D I

食品	0.0	（前期比：マイナス	11.1）
金属	▲ 21.4	（前期比：プラス	9.4）
一般機械	▲ 18.2	（前期比：マイナス	18.2）
電気機械	▲ 15.4	（前期比：プラス	23.1）
木材家具	▲ 16.6	（前期比：プラス	63.4）
その他業種	▲ 35.7	（前期比：マイナス	10.7）

2. 次期予想D I（2023年7月～9月）

次期予想の平均は▲ 16.9ポイントで、今期調査結果の平均(▲ 20.0)より、3.1ポイント上回る予想となりました。

業種別の次期予想D I

食品	0.0	（今期比：プラスマイナス	0.0）
金属	▲ 21.5	（今期比：マイナス	0.1）
一般機械	▲ 45.5	（今期比：マイナス	27.3）
電気機械	▲ 23.1	（今期比：マイナス	7.7）
木材家具	0.0	（今期比：プラス	16.6）
その他業種	0.0	（今期比：プラス	35.7）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が72.3%、「受注の減少」が63.1%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が38.5%、「労働力不足（量的なもの）」が24.6%、「同業他社との競争激化」が21.5%、「技術力の不足」が12.3%、「納期の短縮」が9.2%、「製品販売価格の低下」が7.7%、「金融難」が3.1%、「人員過剰」と「取引先の海外シフト化」と「為替相場の変動」が1.5%となっております。

企業動向調査

【2023年4月～6月期 <2期>】

【調査概要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年4回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は2023年4月～6月期<2期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実施時期 2023年7月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96社

回答企業数 66社（回答率 68.7%）

【調査結果】

自社業況判断（D I = 好転－悪化）

前期比：「好転」15.4%（前回13.8%）、「悪化」35.4%（前回36.9%）という割合でD Iは▲20.0となり、3.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」14.1%（前回14.3%）、「悪化」46.9%（前回36.5%）という割合でD Iは▲32.8となり、10.6ポイント悪化した。

次期予想：「好転」10.8%、「悪化」27.7%という割合でD Iは▲16.9（前回▲23.8）となり、前期より好転を予想している。

受注引合（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」16.9%（前回10.9%）、「減少」44.6%（前回34.4%）という割合でD Iは▲27.7となり、4.2ポイント減少した。

前年同期比：「増加」18.8%（前回9.7%）、「減少」48.4%（前回38.7%）という割合でD Iは▲29.6となり、0.6ポイント減少した。

次期予想：「増加」9.4%、「減少」34.4%という割合でD Iは▲25.0（前回▲21.0）となり前期より減少を予想している。

生産量（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」18.5%（前回12.5%）、「減少」41.5%（前回34.4%）という割合でD Iは▲23.0となり、1.1ポイント減少した。

前年同期比：「増加」16.9%（前回12.9%）、「減少」47.7%（前回38.7%）という割合でD Iは▲30.8となり、5.0ポイント減少した。

次期予想：「増加」12.3%、「減少」36.9%という割合でD Iは▲24.6（前回▲11.2）となり、前期より減少を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前期比：「低下」1.6% (前回0.0%)、「上昇」54.0% (前回54.0%) という割合でD Iは▲52.4となり、1.6ポイント低下した。

前年同期比：「低下」1.6% (前回3.3%)、「上昇」69.8% (前回75.4%) という割合でD Iは▲68.2となり、3.9ポイント低下した。

次期予想：「低下」0.0%、「上昇」46.0%という割合でD Iは▲46.0 (前回▲44.3)となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」27.0% (前回31.3%)、「低下」11.1% (前回0.0%) という割合でD Iは15.9となり、15.4ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」41.3% (前回50.0%)、「低下」12.7% (前回3.2%) という割合でD Iは28.6となり、18.2ポイント低下した。

次期予想：「上昇」17.5%、「低下」11.1%という割合でD Iは6.4 (前回17.7)となり、前期より製品販売価格の低下を予想している。

資金繰り (D I = 好転－悪化)

前期比：「好転」3.1% (前回9.2%)、「悪化」21.5% (前回20.0%) という割合でD Iは▲18.4となり、7.6ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」4.6% (前回6.3%)、「悪化」29.2% (前回27.0%) という割合でD Iは▲24.6となり、3.9ポイント悪化した。

次期予想：「好転」3.1%、「悪化」29.2%という割合でD Iは▲26.1 (前回▲11.1)となり、前期より資金繰りの悪化を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前期比：「増加」7.7% (前回4.6%)、「減少」33.8% (前回27.7%) という割合でD Iは▲26.1となり、3.0ポイント減少した。

前年同期比：「増加」13.8% (前回6.3%)、「減少」36.9% (前回28.6%) という割合でD Iは▲23.1となり0.8ポイント減少した。

次期予想：「増加」9.2%、「減少」30.8%という割合でD Iは▲21.6 (前回▲15.9)となり前期より労働時間の減少を予想している。

収益率 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」7.8% (前回7.8%)、「低下」43.8% (前回37.5%) という割合でD Iは▲36.0となり、6.3ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」10.9% (前回8.1%)、「低下」48.4% (前回53.2%) という割合でD Iは▲37.5となり、7.6ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」6.3%、「低下」43.8%という割合でD Iは▲37.5 (前回▲27.8)となり、前期より若干の収益率の低下を予想している。

経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 72.3%)
2位	受注の減少	(→ 63.1%)
3位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 38.5%)
4位	労働力不足（量的なもの）	(→ 24.6%)
5位	同業他社との競争激化	(↑ 21.5%)
6位	技術力の不足	(↓ 12.3%)
7位	納期の短縮	(↓ 9.2%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 7.7%)
9位	金融難	(→ 3.1%)
10位	人員過剰	(↑ 1.5%)
10位	取引先の海外シフト化	(↑ 1.5%)
10位	為替相場の変動	(→ 1.5%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」42.9%（前回33.3%）、「悪化」42.9%（前回22.2%）という割合でD Iは0.0となり、11.1ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」28.6%（前回33.3%）、「悪化」42.9%（前回22.2%）という割合でD Iは▲14.3となり、25.4ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」0.0%という割合でD Iは0.0（前回44.4）となり前期より大幅な悪化を予想している。

業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」14.3%（前回7.7%）、「悪化」35.7%（前回38.5%）という割合でD Iは▲21.4となり9.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」7.1%（前回15.4%）、「悪化」50.0%（前回38.5%）という割合でD Iは▲42.9となり、19.8ポイント悪化した。

次期予想：「好転」7.1%、「悪化」28.6%という割合でD Iは▲21.5（前回▲38.5）となり、前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」18.2%（前回30.8%）、「悪化」36.4%（前回30.8%）という割合でD Iは▲18.2となり、18.2ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」18.2%（前回23.1%）、「悪化」36.4%（前回15.4%）という割合でD Iは▲18.2となり、25.9ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」45.5%という割合でD Iは▲45.5（前回▲38.5）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／電気機械

前期比：「好転」15.4%（前回0.0%）、「悪化」30.8%（前回38.5%）という割合でDIは▲15.4となり、23.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」7.7%（前回8.3%）、「悪化」69.2%（前回41.7%）という割合でDIは▲61.5となり、28.1ポイント悪化した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」38.5%という割合でDIは▲23.1（前回▲16.7）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／木材家具

前期比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回80.0%）という割合でDIは▲16.6となり、63.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」33.3%（前回0.0%）、「悪化」50.0%（前回100.0%）という割合でDIは▲16.7となり、83.3ポイント好転した。

次期予想：「好転」16.7%、「悪化」16.7%という割合でDIは0.0（前回▲80.0）となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が7月3日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(3月)から1ポイント改善のプラス2となり、製造業(DI)は、マイナス2と2ポイント改善し、非製造業(DI)は、1ポイント悪化のプラス7。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「変わらない」36.9%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」30.8%、「悪化している」20.0%、「今はないが、今後好転が見込まれる」9.2%、「好転している」3.1%。

Q11 今年度から須坂市いきいき！職場改善支援事業補助金がありますが、貴社では対応予定はありますか。

A 「取り組んでいない」70.8%、「取り組み予定」16.9%、「すでに取り組んでいる」、「無回答」とともに6.2%。

Q12 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「人材不足と採用とその対策。半導体・部品不足起因の客先増産による生産対応。物価高、エネルギーコスト増加による利益逼迫。」、「電子部品の調達難のほか原材料・仕入品の価格高騰が続き、付加価値への影響が出ている。米中問題をはじめとした地政学リスクを懸念し、一部ビジネスで先行き不透明感が高まっている。」、「昨年の御開帳景気から一転して4月以降の状況が思わしくない。原材料価格の転嫁が影響したかもしれないが、原材料価格の上昇は留ま

らず、先行き不安は尽きない。」「在庫過多による生産調整が終わり、生産が戻ってきたところでまたすぐに減産になり困惑している。想定より動きが鈍くなっているのか客先は過剰な在庫を持たないよう慎重になっているようだが生産の増減にあわせて人員を配置調整しなければならず非常に困っている。」「受注動向が見えなく、かつ不安定な状況が続き、粗利益も悪化している。」「工事の遅れによる製品出荷の遅れ、延期等で働き方改革により、建設業の作業現場が遅れがちで、そこが課題。」「上半期を終えて、昨年より受注量の減少を感じる。原材料等の上昇はやや収まったが、以前高値を推移しており、下がる傾向にないため、収益に問題がでそう。」「夜勤勤務希望者の応募がない。」「受注の減少に歯止めがかからない状況。」等。

【企業動向調査（製造業）概況】

2023年7月～9月期の企業動向調査（市内製造業96社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は▲ 34.9ポイントとなりました。

前期調査結果（2023年4月～6月期：▲ 20.0ポイント）と比較して14.9ポイント悪化しました。その他経営上の問題については、「中国の景気後退の懸念があり、ますます受注動向が見えなくなっている。」「物価の高騰が大変ですが、その中でも特に、電気、ガス代の高騰が経営の圧迫原因になっています。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」はプラスポイント、「金属」、「一般機械」「電気機械」、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

業種別の業況判断前期比D I

食品	42.9	（前期比：プラス	42.9）
金属	▲ 35.8	（前期比：マイナス	14.4）
一般機械	▲ 53.8	（前期比：マイナス	35.6）
電気機械	▲ 88.9	（前期比：マイナス	73.5）
木材家具	▲ 40.0	（前期比：マイナス	23.4）
その他業種	▲ 20.0	（前期比：プラス	15.7）

2. 次期予想D I（2023年10月～12月）

次期予想の平均は▲ 19.0ポイントで、今期調査結果の平均(▲ 34.9)より、15.9ポイント上回る予想となりました。

業種別の次期予想D I

食品	0.0	（今期比：マイナス	42.9）
金属	▲ 21.4	（今期比：プラス	14.4）
一般機械	▲ 53.8	（今期比：プラスマイナス	0.0）
電気機械	▲ 11.1	（今期比：プラス	77.8）
木材家具	▲ 20.0	（今期比：プラス	20.0）
その他業種	0.0	（今期比：プラス	20.0）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が60.3%、「受注の減少」が57.1%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が47.6%、「労働力不足（量的なもの）」と「同業他社との競争激化」が22.2%、「技術力の不足」と「納期の短縮」が14.3%、「製品販売価格の低下」が9.5%、「為替相場の変動」が7.9%、「金融難」が6.3%「人員過剰」が4.8%、「取引先の海外シフト化」が0.0%となっております。

企 業 動 向 調 査

【 2023 年 7 月～ 9 月 期 <3 期> 】

【 調 査 概 要 】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年 4 回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は 2023 年 7 月～ 9 月 期 <3 期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実施時期 2023 年 11 月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96 社

回答企業数 63 社（回答率 65.6%）

【 調 査 結 果 】

自社業況判断（D I = 好転 - 悪化）

前 期 比：「好転」11.1%（前回 15.4%）、「悪化」46.0%（前回 35.4%）という割合で D I は▲ 34.9 となり、14.9 ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」15.9%（前回 14.1%）、「悪化」52.4%（前回 46.9%）という割合で D I は▲ 36.5 となり、3.7 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」14.3%、「悪化」33.3%という割合で D I は▲ 19.0（前回▲ 16.9）となり、前期より若干の悪化を予想している。

受 注 引 合（D I = 増加 - 減少）

前 期 比：「増加」15.9%（前回 16.9%）、「減少」49.2%（前回 44.6%）という割合で D I は▲ 33.3 となり、5.6 ポイント減少した。

前年同期比：「増加」19.0%（前回 18.8%）、「減少」52.4%（前回 48.4%）という割合で D I は▲ 33.4 となり、3.8 ポイント減少した。

次 期 予 想：「増加」17.5%、「減少」33.3%という割合で D I は▲ 15.8（前回▲ 25.0）となり前期より増加を予想している。

生 産 量（D I = 増加 - 減少）

前 期 比：「増加」11.1%（前回 18.5%）、「減少」50.8%（前回 41.5%）という割合で D I は▲ 39.7 となり、16.7 ポイント減少した。

前年同期比：「増加」14.3%（前回 16.9%）、「減少」55.6%（前回 47.7%）という割合で D I は▲ 41.3 となり、10.5 ポイント減少した。

次 期 予 想：「増加」15.9%、「減少」33.3%という割合で D I は▲ 17.4（前回▲ 24.6）となり、前期より増加を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前期比：「低下」0.0% (前回1.6%)、「上昇」41.0% (前回54.0%) という割合でD Iは▲41.0となり、11.4ポイント低下した。

前年同期比：「低下」3.3% (前回1.6%)、「上昇」62.3% (前回69.8%) という割合でD Iは▲59.0となり、9.2ポイント低下した。

次期予想：「低下」0.0%、「上昇」27.9%という割合でD Iは▲27.9 (前回▲46.0)となり、前期より原材料・仕入単価の低下を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」17.7% (前回27.0%)、「低下」4.8% (前回11.1%) という割合でD Iは12.9となり、3.0ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」38.7% (前回41.3%)、「低下」3.2% (前回12.7%) という割合でD Iは35.5となり、6.9ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」12.9%、「低下」4.8%という割合でD Iは8.1 (前回6.4)となり、前期より製品販売価格の若干の上昇を予想している。

資金繰り (D I = 好転－悪化)

前期比：「好転」7.9% (前回3.1%)、「悪化」27.0% (前回21.5%) という割合でD Iは▲19.1となり、0.7ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」7.9% (前回4.6%)、「悪化」31.7% (前回29.2%) という割合でD Iは▲23.8となり、0.8ポイント好転した。

次期予想：「好転」4.8%、「悪化」22.2%という割合でD Iは▲17.4 (前回▲26.1)となり、前期より資金繰りの好転を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前期比：「増加」11.1% (前回7.7%)、「減少」28.6% (前回33.8%) という割合でD Iは▲17.5となり、8.6ポイント増加した。

前年同期比：「増加」11.3% (前回13.8%)、「減少」30.6% (前回36.9%) という割合でD Iは▲19.3となり3.8ポイント増加した。

次期予想：「増加」14.3%、「減少」17.5%という割合でD Iは▲3.2 (前回▲21.6)となり前期より労働時間の増加を予想している。

収益率 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」9.5% (前回7.8%)、「低下」38.1% (前回43.8%) という割合でD Iは▲28.6となり、7.4ポイント上昇した。

前年同期比：「上昇」11.1% (前回10.9%)、「低下」47.6% (前回48.4%) という割合でD Iは▲36.5となり、1.0ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」11.1%、「低下」31.7%という割合でD Iは▲20.6 (前回▲37.5)となり、前期より収益率の上昇を予想している。

経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 60.3%)
2位	受注の減少	(→ 57.1%)
3位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 47.6%)
4位	労働力不足（量的なもの）	(→ 22.2%)
4位	同業他社との競争激化	(↑ 22.2%)
6位	技術力の不足	(→ 14.3%)
6位	納期の短縮	(↑ 14.3%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 9.5%)
9位	為替相場の変動	(↑ 7.9%)
10位	金融難	(↓ 6.3%)
11位	人員過剰	(↓ 4.8%)
12位	取引先の海外シフト化	(↓ 0.0%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」42.9%（前回42.9%）、「悪化」0.0%（前回42.9%）という割合でD Iは42.9となり、42.9ポイント好転した。

前年同期比：「好転」57.1%（前回28.6%）、「悪化」14.3%（前回42.9%）という割合でD Iは42.8となり、57.1ポイント好転した。

次期予想：「好転」14.3%、「悪化」14.3%という割合でD Iは0.0（前回0.0）となり前期と変わらないことを予想している。

業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」7.1%（前回14.3%）、「悪化」42.9%（前回35.7%）という割合でD Iは▲35.8となり14.4ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」7.1%（前回7.1%）、「悪化」57.1%（前回50.0%）という割合でD Iは▲50.0となり、7.1ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」21.4%という割合でD Iは▲21.4（前回▲21.5）となり、前期より若干の好転を予想している。

業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」7.7%（前回18.2%）、「悪化」61.5%（前回36.4%）という割合でD Iは▲53.8となり、35.6ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」7.7%（前回18.2%）、「悪化」53.8%（前回36.4%）という割合でD Iは▲46.1となり、27.9ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」53.8%という割合でD Iは▲53.8（前回▲45.5）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／電気機械

前 期 比：「好転」0.0%（前回15.4%）、「悪化」88.9%（前回30.8%）という割合で
D Iは▲88.9となり、73.5ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」11.1%（前回7.7%）、「悪化」77.8%（前回69.2%）という割合で
D Iは▲66.7となり、5.2ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」33.3%、「悪化」44.4%という割合でD Iは▲11.1（前回▲23.1）と
なり前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／木材家具

前 期 比：「好転」0.0%（前回16.7%）、「悪化」40.0%（前回33.3%）という割合で
D Iは▲40.0となり、23.4ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回33.3%）、「悪化」60.0%（前回50.0%）という割合で
D Iは▲60.0となり、43.3ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」20.0%、「悪化」40.0%という割合でD Iは▲20.0（前回0.0）
となり、前期より悪化を予想している。

Q10(1) 役員の登用状況（役員数）

A 「2名」34.9%、「3名」、「4名」とともに15.9%、「1名」12.7%、「5名」、「6名」
ともに4.8%、「0名」、「13名」とともに3.2%、「7名」、「10名」、「11名」とともに1.6%。

Q10(2) 内、女性役員数

A 「0名」54.0%、「1名」36.5%、「2名」1.6%、「3名」3.2%、「無回答」4.8%。

Q11 企業の奨学金返還支援制度（代理返還）制度はありますか。

A 「ある」、「今後、導入予定」とともに1.6%、「ない」90.5%、「制度自体を知らなかった」
6.3%。

Q12 インボイス制度が10月から始まりましたが、登録手続きは行いましたか。

A 「登録済み」100.0%、「登録手続き中」、「登録していない」とともに0.0%。

Q13 インボイス制度の状況や影響など

A 「システム改修、社内周知は完了しているが、取引先が誤ったインボイスを発行する場合もあり、

確認や対応のための事務作業が増加している。」、「インボイス制度を無視の企業があり、手間がかかります。」、「会社の接待等で飲食店を利用する場合は、登録されているお店を選ぶようになった。」、「下請けでよく理解していないものがある。」、「よくわかりませんが、今のところ影響はありません。」、「取引先によって対応が違うことや弊社もまだ手探り状態ではある。」、「いろいろな処理対応に追われてしまう感じです。始まったばかりで何ができて、何ができていないかわからなく不安でもあります。」、「大きな混乱もなく運用できている。」、「支払先について都度インボイスの確認を行うようになりました。」、「開始前の下準備等で色々戸惑ったが、開始後はそれほど混乱もなく、お得意先も理解を深めていたので、スムーズに移行は出来た。ただ、個人企業系の理解が浅く、適格請求書になっていない書面を送ってきていたりしていたので、もう少し理解を深めてほしい。」、「意味のないムダな制度だ。今すぐやめてもらいたい。」、「登録業者でない農家の消費税まで負担することになり、さらに厳しい状況になっている。」、「税率が 10%の物だけなので、ほぼ混乱はない。」等。

Q14 2024年度の新規採用について、2023年度と比較した状況を教えてください。
(予定を含む)

A 「増やす」23.8%、「同程度」25.4%、「減らす」3.2%、「未定」38.1%、「無回答」9.5%。

Q15 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「パート社員の就労時間と賃金について厳しい状況になってきています。」、「受注量が増えない中、仕入れ価格が上昇し、資金繰りが厳しい状況が続いている。」、「半導体関連の回復が延伸状況。」、「全体の受注量の減少により、資金繰りの悪化が進んでいる。」、「今後の世界情勢がどうなるかで経営が変わってくるので不安です。」、「採用の売り手市場のほか、若手・中堅クラスの転職意識が年々高まっており、従来にも増して採用活動の工夫、社員定着の為の仕組みづくり等、人的資本経営への取り組みが重要な経営テーマとなっている。」、「採用難の時期もあり、30~40代従業員の層が薄い。中途採用募集するが、よい人材に出会えない。」、「原材料が高止まりし、下がる気配がない。価格転嫁できるものはいいが、なかなか全部というわけにはいかない。物流面でイスラエルとハマスによる戦闘の影響が出てくるかもしれないと聞く。」、「顧客の日本国内向け製品に中国ローカル企業の部品が採用されるようになり、価格競争が厳しくなっている。」、「国内納品が多い中小は厳しい。製品価格に資源材料高と賃上げが追い付かない状況。(利益圧迫)インバウンドも良いが国内製造の良さを失う過度な円安に頭を抱える状況。」等。

【 企業動向調査（製造業）概況 】

2023年10月～12月期の企業動向調査（市内製造業96社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は▲1.8ポイントとなりました。

前期調査結果（2023年7月～9月期：▲34.9ポイント）と比較して33.1ポイント好転しました。その他経営上の問題については、「2024年度問題で輸送コストが上昇する見込みだが、これ以上販売価格に転嫁できない。」「電気代等のエネルギー費用や社会保険料の引き上げ。一企業ではどうにもコントロールできない。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」はプラスポイント、「金属」は0ポイント、「一般機械」、「電気機械」、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

業種別の業況判断前期比D I

食品	60.0	（前期比：プラス	17.1）
金属	0.0	（前期比：プラス	35.8）
一般機械	▲30.8	（前期比：プラス	23.0）
電気機械	▲11.1	（前期比：プラス	77.8）
木材家具	▲16.6	（前期比：プラス	23.4）
その他業種	22.2	（前期比：プラス	42.2）

2. 次期予想D I（2024年1月～3月）

次期予想の平均は▲23.7ポイントで、今期調査結果の平均(▲1.8)より、21.9ポイント下回る予想となりました。

業種別の次期予想D I

食品	▲20.0	（今期比：マイナス	80.0）
金属	▲23.1	（今期比：マイナス	23.1）
一般機械	▲38.4	（今期比：マイナス	7.6）
電気機械	0.0	（今期比：プラス	11.1）
木材家具	0.0	（今期比：プラス	16.6）
その他業種	▲44.5	（今期比：マイナス	66.7）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が56.4%、「受注の減少」が52.7%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が45.5%、「労働力不足（量的なもの）」が27.3%、「納期の短縮」が16.4%、「同業他社との競争激化」が14.5%、「技術力の不足」が9.1%、「製品販売価格の低下」が7.3%、「為替相場の変動」が5.5%、「金融難」が3.6%、「人員過剰」が1.8%、「取引先の海外シフト化」が0.0%となっております。

企業動向調査

【2023年10月～12月期 <4期>】

【調査概要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年4回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は2023年10月～12月期<4期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実施時期 2024年3月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96社

回答企業数 55社（回答率 57.2%）

【調査結果】

自社業況判断（D I = 好転－悪化）

前期比：「好転」18.2%（前回11.1%）、「悪化」20.0%（前回46.0%）という割合でD Iは▲1.8となり、33.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」16.4%（前回15.9%）、「悪化」38.2%（前回52.4%）という割合でD Iは▲21.8となり、14.7ポイント好転した。

次期予想：「好転」14.5%、「悪化」38.2%という割合でD Iは▲23.7（前回▲19.0）となり、前期より若干の悪化を予想している。

受注引合（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」20.0%（前回15.9%）、「減少」23.6%（前回49.2%）という割合でD Iは▲3.6となり、29.7ポイント増加した。

前年同期比：「増加」16.4%（前回19.0%）、「減少」36.4%（前回52.4%）という割合でD Iは▲20.0となり、13.4ポイント増加した。

次期予想：「増加」16.4%、「減少」40.0%という割合でD Iは▲23.6（前回▲15.8）となり前期より減少を予想している。

生産量（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」18.2%（前回11.1%）、「減少」27.3%（前回50.8%）という割合でD Iは▲9.1となり、30.6ポイント増加した。

前年同期比：「増加」14.5%（前回14.3%）、「減少」38.2%（前回55.6%）という割合でD Iは▲23.7となり、17.6ポイント増加した。

次期予想：「増加」14.5%、「減少」38.2%という割合でD Iは▲23.7（前回▲17.4）となり、前期より減少を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前期比：「低下」0.0% (前回0.0%)、「上昇」29.6% (前回41.0%) という割合でD Iは▲29.6となり、11.4ポイント低下した。

前年同期比：「低下」1.9% (前回3.3%)、「上昇」63.0% (前回62.3%) という割合でD Iは▲61.1となり、2.1ポイント上昇した。

次期予想：「低下」0.0%、「上昇」34.0%という割合でD Iは▲34.0 (前回▲27.9)となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」13.0% (前回17.7%)、「低下」1.9% (前回4.8%) という割合でD Iは11.1となり、1.8ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」33.3% (前回38.7%)、「低下」5.6% (前回3.2%) という割合でD Iは27.7となり、7.8ポイント低下した。

次期予想：「上昇」15.1%、「低下」7.5%という割合でD Iは7.6 (前回8.1)となり、前期より製品販売価格の若干の低下を予想している。

資金繰り (D I = 好転－悪化)

前期比：「好転」5.5% (前回7.9%)、「悪化」18.2% (前回27.0%) という割合でD Iは▲12.7となり、6.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」12.7% (前回7.9%)、「悪化」23.6% (前回31.7%) という割合でD Iは▲10.9となり、12.9ポイント好転した。

次期予想：「好転」5.7%、「悪化」26.4%という割合でD Iは▲20.7 (前回▲17.4)となり、前期より資金繰りの若干の悪化を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前期比：「増加」11.1% (前回11.1%)、「減少」20.4% (前回28.6%) という割合でD Iは▲9.3となり、8.2ポイント増加した。

前年同期比：「増加」9.1% (前回11.3%)、「減少」25.5% (前回30.6%) という割合でD Iは▲16.4となり2.9ポイント増加した。

次期予想：「増加」9.1%、「減少」18.2%という割合でD Iは▲9.1 (前回▲3.2)となり前期より労働時間の減少を予想している。

収益率 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」9.1% (前回9.5%)、「低下」29.1% (前回38.1%) という割合でD Iは▲20.0となり、8.6ポイント上昇した。

前年同期比：「上昇」10.9% (前回11.1%)、「低下」34.5% (前回47.6%) という割合でD Iは▲23.6となり、12.9ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」9.1%、「低下」23.6%という割合でD Iは▲14.5 (前回▲20.6)となり、前期より収益率の若干の上昇を予想している。

経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 56.4%)
2位	受注の減少	(→ 52.7%)
3位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 45.5%)
4位	労働力不足（量的なもの）	(→ 27.3%)
5位	納期の短縮	(↑ 16.4%)
6位	同業他社との競争激化	(↓ 14.5%)
7位	技術力の不足	(↓ 9.1%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 7.3%)
9位	為替相場の変動	(→ 5.5%)
10位	金融難	(→ 3.6%)
11位	人員過剰	(→ 1.8%)
12位	取引先の海外シフト化	(→ 0.0%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」60.0%（前回42.9%）、「悪化」0.0%（前回0.0%）という割合でD Iは60.0となり、17.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」60.0%（前回57.1%）、「悪化」20.0%（前回14.3%）という割合でD Iは40.0となり、2.8ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」20.0%という割合でD Iは▲20.0（前回0.0）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」15.4%（前回7.1%）、「悪化」15.4%（前回42.9%）という割合でD Iは0.0となり35.8ポイント好転した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回7.1%）、「悪化」46.2%（前回57.1%）という割合でD Iは▲46.2となり、3.8ポイント好転した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」38.5%という割合でD Iは▲23.1（前回▲21.4）となり、前期より若干の悪化を予想している。

業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」0.0%（前回7.7%）、「悪化」30.8%（前回61.5%）という割合でD Iは▲30.8となり、23.0ポイント好転した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回7.7%）、「悪化」38.5%（前回53.8%）という割合でD Iは▲38.5となり、7.6ポイント好転した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」53.8%という割合でD Iは▲38.4（前回▲53.8）となり前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／電気機械

前 期 比：「好転」11.1%（前回0.0%）、「悪化」22.2%（前回88.9%）という割合で
DIは▲11.1となり、77.8ポイント好転した。

前年同期比：「好転」11.1%（前回11.1%）、「悪化」55.6%（前回77.8%）という割合で
DIは▲44.5となり、22.2ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」11.1%、「悪化」11.1%という割合でDIは0.0（前回▲11.1）と
なり前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／木材家具

前 期 比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回40.0%）という割合で
DIは▲16.6となり、23.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回60.0%）という割合で
DIは▲16.6となり、43.4ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」33.3%、「悪化」33.3%という割合でDIは0.0（前回▲20.0）
となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が12月13日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(9月)からプラス3ポイントと2ポイント下回り、3期ぶりに悪化。製造業(DI)は、マイナス3ポイントと2ポイント下回り、3期ぶりの悪化。非製造業(DI)は、プラス10ポイントで2ポイント下回り2期ぶりの悪化となりました。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「好転している」1.8%、「今はないが、今後好転が見込まれる」12.7%、「変わらない」38.2%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」27.3%、「悪化している」20.0%。

Q11 物価上昇の影響により、様々な商品、原材料などの値上げが起きていますが、貴社では賃上げをする予定はありますか。

A 「大幅に上げる」3.6%、「例年並みに上げる」30.9%、「検討中」41.8%、「予定なし」20.0%、「無回答」3.6%。

Q12 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「電気、ガスの補助金が6月で終了すれば、製造経費の逼迫が危惧される。」、「新卒採用での売り手市場、若手、中堅クラスの転職意識が年々高まっており、人材の採用・定着・育成が継続した課題である。」、「原材料の高騰が続いているので、製品価格が見合わない状況になっています。」、「新卒採用の難航と入社後1年以内の退職率の上昇により、社員構成がいびつに

なりつつあることが重要な課題になりつつある。」、「人材育成の思い通りにいかない。」、「人員不足が否めない。また、賃金上昇分を原価に十分に反映できていない。今後を見据えて産業製品の販売単価を値上げする方向ではあるが、今後の売上額に影響があるか不安な部分はある。受注情報の早期収集に努める。」、「昨年夏より受注が全体的に減少している。原因は取引先により様々だが、取引先自体の受注が減っているためと思われる。県外業者が安値で仕事を取ってしまっても聞く。」、「大手は大幅な賃上げを打ち出しているが下請け(中小)へは回ってこない。下請けへ分配しているのはおかしいと思う。」、「本業は汎用プラスチック系業界のため上昇気配がない。昨年2%賃上げは利益圧迫しているため今期中小目標 3.8%の対応は難しい。材料高もきつい。更なる値上げは印象が悪すぎる。」、「電線などの建築資材の入手がかなり遅れています。今後の生産予定にかなりの悪影響が懸念され不安な毎日です。」等。

